

(提案書 様式①－ 2)

協働の機会提案書(継続提案用)

平成 2 8 年 9 月 2 6 日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 2 0 — 0 0 1
名 称 NPO 法人 エコネットちば
所在地 印西市竹袋 7 2
代表者職氏名 理事長 齊藤 敏男 ㊞
連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	ひょうたん島池(竹袋調整池)広場は、四季の花と景観を楽しみにウォーキングや癒しを求めて訪れる人々が年ごとに増加している。 コスモスふれあいまつりで、地域交流の場となった竹袋調整池と周辺地域の景観と環境を保全するため、継続した維持管理が必要である。
提案理由	市の水生公園構想により整備された竹袋調整池と周辺地域は景観に恵まれた水辺の場であり、花を求めて訪れる人々が年々ふえている。四季の花、飛来する野鳥、鳥のさえずりを楽しめる環境を維持して、市民にふれあいの場と癒しの空間を提供する。
提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)	花畑と遊歩道沿いに四季の花植え、雑草の繁茂抑制、ごみ清掃を実施して、快適な景観維持と環境保全。 1. 花畑の整備 2. 定期的な草刈 3. 日常随時のごみ清掃
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	エコネットちばは地元で活動する N P O で地域住民、地元町内会・商店会、学校や他市民活動団体とも協力して、花畑づくりや地域まつり(コスモスふれあいまつり)を実施してきた。この地域の維持管理を行政との協働事業で実施することで住民の期待と関心がたかまる。
継続実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	協働事業に提案、8 年目を実施中である。継続経験することで花畑の整備も充実してきた。訪れる人々から感謝応援の声とともに要望意見を参考にして工夫できる。今後はひょうたん島池広場を、誰もが健康で元気に暮らせる健康増進に利用できる場にしていきたい。

(提案書 様式②)

協働事業計画書			
事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の目的	竹袋調整池と周辺地域は景観に恵まれて、市民に愛され憩いの場となっている。この素晴らしい環境を保全するため継続した維持管理を行う。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 緑と調和した生活空間の形成と活用 (部署名) 都市整備課		
事業期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して 記すか、希望を記す)	提案者	市	
	○定期的な草刈り ○花畑の整備 ○樹木の管理 ○日常随時のごみ清掃 ○排水口のごみ除去	○維持管理の相談・協議 ○植栽管理の指導・助言 ○花の種の提供	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	50,000円	3,095,000円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	農業機械操作・造園作業に精通した会員を指導員として、会員15名とボランティアの協力体制で維持管理する。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	水辺の維持管理で地域の環境保全ができ、市民に憩いの場を提供できる。ふれあいのまちづくりへ展開できる。	年間通してきれいな水辺を、憩いの場・健康増進の場として利用でき、地域住民と交流の機会が広がる。	市民に愛される魅力ある地域拠点ができ、市民サービスが向上する。更に、維持管理経費が削減できる。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	定期的な計画事業の活動報告を行うとともに、随時・異常気象時の巡回報告・協議で安全確保と環境保全に努める。		
事業の周知や評価の方法	市広報、市HPやケーブルテレビ、地域ミニコミ誌等への情報提供、HPや現地掲示板による案内。来場者からの意見・感想聴取。		
備考	関係団体等 木下南口商工会、地域町内会、学校、地域活動団体他		
	その他(添付書類等) 竹袋調整池関係図 年間スケジュール(H28年度版)		

(提案書 様式④)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	必要経費	参加人数
4月中旬	傷害保険契約	20万円	15名
5月上旬	草刈り作業(1回目)	20万円	10名
6月上旬	草刈り作業(2回目)	15万円	10名
6月上旬	施肥	7万円	5名
6月中旬	耕運	11万円	10名
6月中旬	苗植え	15万円	15名
7月上旬	草刈り作業(3回目)	18万円	10名
7月上旬	施肥	7万円	5名
7月上旬	花畑消毒	4.5万円	5名
8月上旬	草刈り作業(4回目)	17万円	10名
8月上旬	施肥	7万円	5名
8月上旬	耕運	5.5万円	10名
8月上旬	種蒔	4万円	5名
8月上旬	花畑消毒	4.5万円	5名
9月上旬	草刈り作業(5回目)	18万円	10名
9月中旬	施肥	7万円	5名
10月上旬	水生植物除去	20万円	10名
10月上旬	草刈り作業(6回目)	15万円	10名
10月上旬	花畑消毒	4.5万円	5名
10月上旬	施肥	7万円	5名
10月中旬	コスモスふれあいまつり」		20名
10月下旬	耕運	11万円	10名
11月上旬	種蒔	4万円	5名
11月上旬	草刈り作業(7回目)	15万円	10名
11月上旬	施肥	7万円	10名
11月上旬	耕運	5.5万円	10名
11月中旬	苗植え	15万円	15名
年間	植栽管理	25万円	10名
年間	看板類作成設置	5万円	5名
	合計	314.5万円	

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費(無償分を含む)

金 4,855,300 円

市から団体への委託費

(金 3,095,000 円)

【歳入】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		3,095,000
その他収入		
提案者負担分		50,000
無償労働力等換算金額	労働力 1,552,300円、 機材 158,000円	(1,710,300)
合 計 (無償分を含めない)		3,145,000
無償分を含めた合計額		(4,855,300)

【歳出】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
作業費	草刈(機械) 面積10,000㎡ 7回×150,000円/回 1,050,000 草刈(手刈) 面積 150㎡ 2回×20,000円/回 40,000 草刈(ひょうたん島)面積 300㎡ 3回×30,000円/回 90,000 耕運(花畑) 面積3,700㎡ 6回×55,000円/回 330,000 施肥(花畑) 面積3,700㎡ 6回×70,000円/回 420,000 消毒(花畑) 面積3,700㎡ 3回×45,000円/回 135,000 植栽管理(桜44本、サツキ150㎡) 250,000円/年 250,000 水生植物除去 面積 200㎡ 1回×200,000円/回 200,000 苗植(花畑) 面積 2,200㎡ 2回×150,000円/回 300,000 種蒔(花畑) 面積 2,200㎡ 2回×40,000円/回 80,000	
保険料	損害保険 200,000円	200,000
提案者が負担する 無償労働力	817円×1,900時間＝1,552,300円 (草刈 7日、苗種植栽8日、除草 20日、散水15日、 放流口浮遊物除去20日、地域清掃 48日)	(1,552,300)
提案者が負担する 無償機材等	草刈機(肩掛) 3,000円/回×6台×7日＝126,000円 管理機(除草) 4,000円/回×1台×8日＝32,000円	(158,000)
提案者が負担する その他の材料費	案内看板材料等一式 50,000円	50,000
合 計 (無償分を含めない)		3,145,000
無償分を含めた合計額		(4,855,300)

企画提案型協働事業 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

平成２８年度最終審査 委員会総合意見

- 1 景観保全によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。市と協働で市民の憩いの場を継続的に維持する取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

実績の評価

- ・心を込めた大きな労働があつての癒しの空間だとその努力を労いたいと思います。この維持管理を続ける為、団体の負担を増やすことなく、市との分担をすすめていただきたいと思います。
- ・ウォーキング大会など手入れされた場所をみんなで楽しめる企画は、知らない方にも知っていただく機会と健康増進のアイデアとしてとてもおもしろいと思います。多勢の人に自然を味わっていただけると嬉しいです。
- ・市民に愛される憩いの場となっているこの環境を是非継続して下さい。市民のニーズが高い事業である。市との協働事業としてふさわしいと思われる。
- ・自然を相手にしたお祭り、なかなか花の見頃と一致させるのは難しいかもしれませんが、今後も癒しの場、憩いの場として市民が楽しめる場として頂ける様お願いします。

実施する上での留意点

- ・繁茂する草の除去や、舗装のクラック修繕等も市と協働で解決する仕組みを考えていただき、課題解決を図っていただきたいと思います。
- ・コスモスまつり等のイベント事業については、協働事業のメニューのひとつとして計上した方が望ましいのではないかと。団体負担が計算上明確になって良いと思う。
- ・事前協議チェックシートにおいて、事業費の積算について、一部の仕様が確認できない旨の記載がありますが、事業の実施に当っては、仕様を具体化し、効率よく経費を活用するように努めて下さい。
- ・将来に向けても、継続的に調整池周辺の環境整備ができるようなしくみについて市と一緒に考えていって頂きたい。周辺への健康増進施設の整備というのはひとつの良いアイデアと思われるので継続して市と協議して頂きたい。

担い手

- ・将来的には、人材問題（後継者等）の課題があると考えられますので、是非、解決されて継続していただきたいと思います。
- ・活動の担い手が増える工夫を。
- ・学校の環境教育活動と連携するなど、若い世代へのアピールもいいのでは。

事業継続の方法を検討

- ・事業の落とし所を今から考えておいて下さい。このまま同じ事業内容では、いずれ見直しが必要になると思います。どこまでやるか、目標を定めておくことが必要だと思います。（以前も同様な意見を述べましたが…。）
- ・水辺の維持管理をNPOが8年目実施というのは協働事業の成功例ですが、協働事業として提案が難しくなる今後に備えて、今からこの事業の継続の方法を考えて下さい。

- ・近くに福祉施設、木下駅、印西市役所があり、いつもきれいな水辺の場を提供（市民に）することは重要だと思う…。しかし、每期、每期、同じように定期的な草刈、花畑の整備、排水口のごみの除去、水草の除去等をくりかえしている。そして、每期300万越えの積算金額（コスト）が発生している。アスファルト道路等をもっとふやすとか、調整池をもっと深くし（2 m以上の深さ）その底をセメントで固めるとか、そろそろ抜本的な対応が必要かと思われる。